

英語コミュニケーションコース開設科目および配当セメスター

セメスター	授業科目名	単位	開講回数	備考
必修科目 (20単位)				
4	Oral Communication I A	4	週2回	必修10単位
	Oral Communication I B	4	週2回	
	Writing I	2	週1回	
5	Oral Communication II A	4	週2回	必修10単位
	Oral Communication II B	4	週2回	
	Writing II	2	週1回	
選択科目 (28単位以上)				
4~	米国文化 I	2	週1回	2年生に強く推奨
	英国文化 I	2		
5~	米国文化 II	2	週1回	3年生に強く推奨
	英国文化 II	2		
4~	English in the World	2	週1回	
	文化比較	2		
	Intensive Reading	2		
	Reading Fluency	2		
	Communicative Grammar I	2		
5~	英米事情	2	週1回	
	Business Writing	2		
	Critical Essay	2		
	Process Writing	2		
	Public Speaking	2		
	Debate and Discussion	2		
	Dynamics of Expression	2		
	Communicative Grammar II	2		
6~	Intercultural Discussion (※注1)	2	週1回	
5~	学部共通特別講義 I (※注1)	4	週2回	
6~	学部共通特別講義 II	2	週1回	2017年度 配当セメスターを6セメスターに変更しています。
6~	学部共通特別講義 III	2	週1回	
	学部共通特別講義 IV	2		
	学部共通特別講義 V	2		
4~	海外研修 (※注2)	4	集中	
5~	英語資格試験セミナー (※注3)	2	集中	
6	Seminar I	2	週1回	
7	Seminar II	2	週1回	
8	卒業研究 (※注4)	4	週1回	
5~	Forum (※注5)	2	週1回	

留意事項

上記配当セメスターにかかわらず、開講セメスターは年度により変更することがあります。

また開講科目は年度により不開講となる場合があります。

詳細は時間割冊子およびWeb履修登録画面で確認してください。

(※注1) 受講人数は、下記受講資格のいずれかを満たす学生で、上限15名（うち留学生は全体の3分の1以内）程度とし、正規・交換留学生を含む希望者が制限人数を上回った場合は、主に下記受講資格の優先順位と志望理由書の内容で登録許可者を選考します。ただし、留学生受講者の選考については、英語で日常会話ができる程度を目安とし、担当教員による面接を行います。

【受講資格】

- ①長期海外留学経験者  
英語が堪能であり、海外（英語でのプログラムに限る）の高校または大学等で半年以上学んでいること
- ②短期海外留学経験者  
海外への留学経験（英語でのプログラムに限る）が2ヶ月以上半年未満であり、TOEFL®スコア Computer-based score 173以上（Paper-based score 500以上）であること。
- ③海外への留学経験はないが、TOEFL®スコアがComputer-based score 173以上（Paper-based score 500以上）であること。
- ④面接  
担当教員との面接を通じて選考する。

(※注2) 「海外研修」については、前述の「海外研修について」を参照してください。

(※注3) 「英語資格試験セミナー」を第3セメスターまでに修得した場合は、コース所属後に、自動的にコースの修了要件単位として取り扱われます。コース所属後の履修は、コース時間割登録コードで履修登録してください。

- (※注4) ①「卒業研究」を履修するには、原則として「Seminar II」の履修登録が必須です。  
「Seminar II」の履修登録時に「卒業研究」の履修登録も行ってください。
- ②卒業研究は、「Seminar II」の担当者に個別指導を受け、研究論文を提出する形態をとります。
  - ③留学後（帰国後）の「卒業研究」の履修について  
留学前（出国前）に教学部窓口まで申し出てください（指導教員の許可が必要です）。
  - ④留学による「卒業研究」の履修について  
4年次に留学する学生は「Seminar II（7セメ配当）」は履修できませんが、以下の手続きを行うことにより、「卒業研究」の履修が可能となります。

《手続き方法》

- a. 「卒業研究」の単位認定希望者は、留学前に指導教員に研究計画書を提出してください。
- b. 指導教員は研究計画書についての指導計画書を作成し、留学中も指導を行います。
- c. 学生は、中間報告書を指導教員に提出してください。
- d. 「卒業研究」を指導教員に提出してください。

(※注5) 講義授業に加え、半期で2～3回程度のゲストスピーカーを招いた講演会や報告会を開催し、講演会の後に討論やレポートの提出を求めます。それも含めて、担当者が成績評価します。